

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：35007
学校名：西岡中学校

改訂のポイント		<p>○自分の考えを積極的に伝え合う言語活動により、思考力・判断力・表現力を高める</p> <p>○「<u>小中一貫した教育</u>」と「<u>家庭との協力</u>」によって、課題意識と計画性をもった学習活動を行い、基礎的・基本的な学力を定着させる</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆正しい現状認識から自分の課題を把握し、見通しをもって意欲的に学習に取り組もうとする生徒</p> <p>☆自己肯定感をもちながらも多様な価値観を認め合い、心を開いて「自分の言葉」で積極的に議論できる生徒</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>○「授業のねらい」を示し「振り返り」を重視することで、生徒が課題意識をもちながら学習に取り組める授業構成を工夫した</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒学校評価アンケートにおいて、「『授業のねらい』を意識している」生徒の割合が1.6ポイント上昇し、89.3%となった。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇札幌市共通指標によるアンケートにおいて、「自分の意見を進んで発言している」生徒の割合が38.5%となっている。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>○各教科の授業や道徳・学活・総合の時間に、理解したことや自分の思い・考えを伝え合う「言語活動」を行った</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒札幌市共通指標によるアンケートにおいて、「人の意見を参考にして自分の考えを見直す」生徒の割合が5.7ポイント上昇した。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇全国学力学習状況調査において、「話し合いで自分の考えを深めたり広げたりしている」生徒の割合が、全国平均より10.2ポイント少なくなっている。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>○「学習記録シート」の活用方法を工夫し、時間の使い方や家庭学習などについての指導・助言に活かした</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒全国学力学習状況調査において、「計画的に学習に取り組む」生徒の割合が、6ポイント上昇した。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇全国学力学習状況調査において、全国平均を下回る領域が複数見られた。</p>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>課題解決に向けてお互いの考えを伝え合う「言語活動」の取組で、指導と評価を効果的に行う</p>		
	具体的な改善策（取組）	<p>○「学習のねらい」を伝えて授業を行い、<u>生徒が言語化した「振り返り」を適切に評価することで、課題意識と学習意欲を高める</u></p> <p>○グループワークやペアワークなど日常の学習活動をもとにして、プレゼンテーションや議論の場面で自分を表現する力を伸ばす</p> <p>○「学習記録シート」の活用方法を工夫し、時間の使い方や家庭学習などについて<u>家庭と協力して指導・助言に活かす</u></p> <p>○「<u>聴く力と伝える力の向上</u>」を小学校と共通する課題としてとらえ、<u>学びに向かうより良い態度と意欲によって『確かな学力』の定着を図る</u></p> <p>*さっぽろっ子「学び」のスズメ『まほうのかいわ』を保護者と共有し、家庭と学校が連携して子どもたちの意欲を高めていきたい</p>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）</p> <p>○全国学力・学習状況調査や学校評価アンケート等の活用</p> <p>○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用</p>		